広報紙

JAやまがた

管内（山形市・上山市・山辺町・中山町）の組合員の方々にお届けします

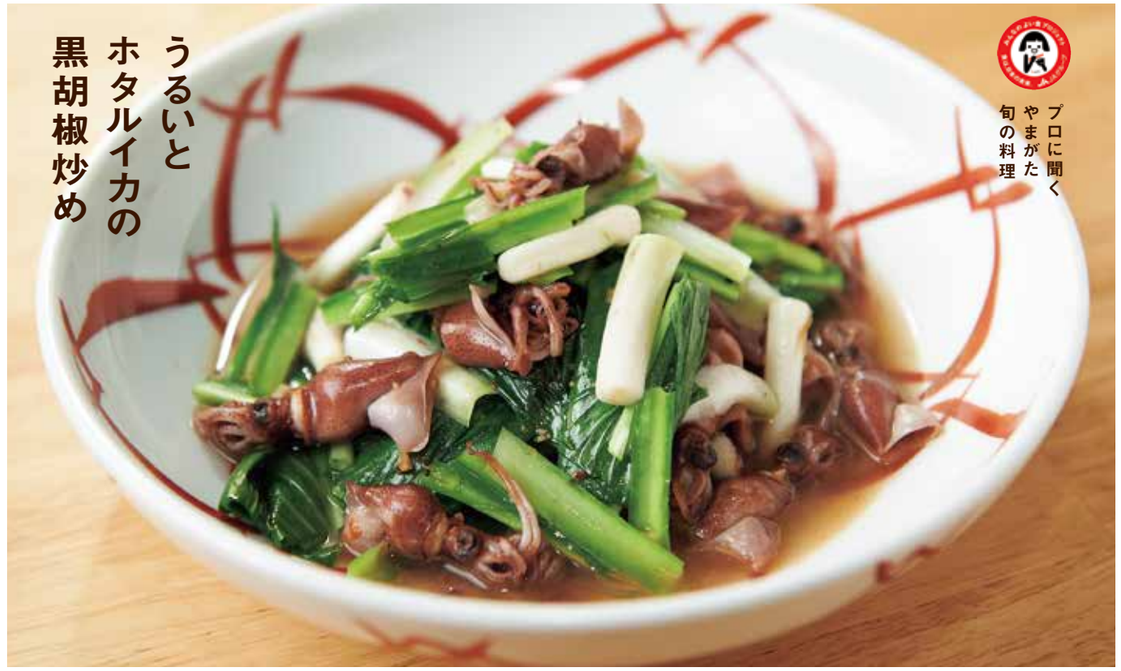
4
2020
Apr.

02 地区別座談会
04 特集 JAの未来
12 旬の料理 うるいとホタルイカの黒胡椒炒め

高品質良食味・安定生産 令和2年産米スタートに向けて

JAやまがた公式Facebook

広報紙 JAやまがた　2020／4月号　発行／山形農業協同組合　〒990-8535 山形市旅篭町1-12-35　TEL.023-641-3121　FAX.023-631-4714　http://www.jayamagata.or.jp/



プロに聞く やまがた旬の料理

うるいとホタルイカの黒胡椒炒め

●材料（一皿分）
うるい…100g
ホタルイカ…120g
黒胡椒…小さじ1
にんにく（みじん切り）…1/3片

鶏ガラスープ…80ml
酒・ナンプラー…各小さじ1/2
砂糖…少々
水溶き片栗粉…少々

1 うるいは洗って汚れを落とし、4～5㎝幅に切り、茎と葉に分けておく。ホタルイカは、目を取り除いて下ごしらえしておく。

2 たっぷりの熱湯に、うるいの茎から先に入れ、続けて葉も入れる。茹で時間が10～15秒ほどでざるにあける。

3 鶏ガラスープ・酒・ナンプラー・砂糖を合わせておく。鍋に油大さじ1を入れ熱し、黒胡椒を入れ、弱火で香りを出す。

4 にんにくを加え香りが出たら、うるいとホタルイカを入れ、さっと炒める。調味料を入れ、水溶き片栗粉でとろみをつける。

ワンポイントアドバイス
うるいは、茹で過ぎるとシャキシャキ感がなくなってしまうので茎→葉と入れたらさっとザルに引き上げましょう。

森谷秀和／「森の季」隠れ家的中華料理のお店。和の趣がある落ち着いた雰囲気の中で、旬の素材を活かしたこだわりの中華料理を美味しい日本酒とお楽しみいただけます／山形市香澄町2丁目1-21／TEL.023-665-5919／平日・土・祝・祝前17:30～21:00営業／定休 日曜日・祝日（貸切りのみ営業可）

オススメ読書

決定版　野菜づくり大百科
板木利隆 著
127種の野菜をとりあげ、種まきから収穫までの栽培プロセスをイラストで徹底解説。育てやすい品種紹介や病害虫対策、土づくりなど、役立つ情報が満載。家庭菜園の知識を結集した決定版！ビニールカバー付き。
定価（税込）4,180円

購読申し込み
経済課
TEL.023-624-8567

今月の表紙／
おいしさ直売所落合店スタッフ
撫養千明さん（右）、安達飛鳥さん

おいしさ直売所落合店は4月25日でオープン1周年を迎えます。多くの皆様よりご支援、ご利用いただきありがとうございます。表紙の撮影日は春彼岸フェアを開催しており、たくさんの花が入荷されて店舗を彩っていました。山形県では「花を飾ろう！贈ろう！」運動が展開されています。地元で生産された、新鮮な花、農畜産物が並ぶ、おいしさ直売所にぜひご来店ください。

地区別座談会

2月に行われた地区別座談会で、
ご質問の多かった事項について紹介します。

金融部門において、2022年（令和4年）以降実施の新たな店舗機能を見据えた事業とはどのようなことか。

2022年（令和4年）以降の次期システムでは、事務効率化・堅確化を目的に伝票レス、端末入力レス等の機能を備えた信用端末機に変わります。全国的な取り組みで費用が増大することが予想されるため、コストの削減やATM機能の見直しを含め、支店に見合った事業体制を検討する必要があります。当JAは既に店舗再編が終了しており、新たな支店再編をしていくものではありません。

共済部門において、自動車事故損害調査業務移管とあるがどのようなものか。

自動車損害サービス課で事故処理を担当しておりましたが、令和2年4月1日からJA共済連山形の村山自動車損害調査サービスセンターでの事故処理対応となります。令和2年度は当JAから5名の職員が出向して、新たな損害調査体制により、これまで以上の契約者サービスの強化に努めてまいります。尚、自動車事故受付につきましては、これまで通り、平日の営業時間内はJAにて、営業時間外の場合はフリーダイヤル（0120-258-931）のJA共済事故受付センターでの受付になります。

自動車共済に複数台加入しており、その都度約款が届く。ペーパーレスが進むなか改善できないのか。

JAからの説明、周知不足もありますが、約款を冊子での交付が不要の場合は、ご契約時にWeb約款を選択いただけます。Web約款は必要な時、いつでもJA共済ホームページでご覧いただけますので、ご活用ください。

購買の取引明細書が届くのが13日、14日あたりになる。16日に口座から引き落としとなり、日数が短く高額になると入金が間に合わなくなる。早期に配布か口座振替時期の変更は可能か。

購買の取引明細書については、月末締めで支店に10日までに届きます。通知方法や早期の配布、決済日の変更が可能かどうかについて内部で協議し、ご要望に応えられるよう検討してまいります。

口座の残高確認として、スマートフォンなどで確認することはできないか。

JAバンクアプリの登録により、入出金明細・残高の確認が可能です。さらに、インターネットバンキングの申し込みにより、振替・送金も可能になります。

今後の営農団地の状況を教えてほしい。

今期は野菜ハウス団地7区画、シャインマスカット団地25a×2棟、10a×2棟、桃団地20a×5区画、30a×1区画を予定しております。利用者募集中で令和2年度から4年度計画で、各団地の年間売上5,000万円が目標です。

一元出荷について現状はどうなっているのか。

当JAの青果物販売高は合併当初より半減しております。市場の占有率を高めるため、一元出荷に取り組んでおります。共選については、現在18社ある市場を10社くらいに重点市場を絞り込み、価格の維持と集荷・荷卸しの立ち寄り回数を減らしながら、輸送費コストを削減していきたいと考えております。重点市場、特に力のある市場へ供給していかないと平均価格がとれないのが現状なので、農業所得増大に結び付けた取り組みをしてまいります。

農薬価格について、他業者より安いものもあれば、高いものもある。

当JA独自で複数の商社と取り引きを行い、安価な業者から仕入れる努力をしております。特に、防除暦に記載されているものについては力を入れているので、なるべく防除暦に沿ってのご使用をおすすめしております。JAはプライスリーダー的な存在で、業者はJAの価格を参考に値段を決めているところもあります。価格設定については今後も努力を続けていきます。

きずな担当は大規模農家や法人に重点を置き活動していくとあるが、小規模農家、兼業農家にはどのように対応していくのか。

きずな担当者は10名おり、その人数で活動していくなかで、重点的にということであり、小規模農家等を軽視しているということではありません。家族経営、中小規模農家を含めた多様な担い手への支援強化を図っていく方針であり、経済配送やグリーン店舗職員と連携をして、しっかり対応できる体制を整えていきます。

有害鳥獣対策について。

有害鳥獣の密度が高く、被害が拡大していると認識しております。行政に強く働きかけると共に、JAやまがた営農振興支援事業を活用した支援ができないか検討してまいります。

直売所の売上げはどれくらいか。

南館店6億4,460万円、落合店4億3,900万円、紅の蔵店3億7,800万円、全体で14億円（税込）を超えております。直売事業につきましては、直売所と直販事業を含めた業者との米の独自販売も実施しており、これからも拡大していく計画であります。今後、専門の商系アドバイザーより、従業員の接客対応の教育、商品の陳列レイアウト等を徹底的に学習し、売上を伸ばしていく方針であります。売上げを伸長して生産者会員の増加となるよう取り組んでまいります。

直売所で売れ残ったもの、持ち帰りのものなどを利用してもらいたい。

毎日ではありませんが、地域貢献活動として直売所にボランティア箱を設置し、山形市小白川町と緑町の子ども食堂へ農作物を提供しておりますので、ご利用とご協力をお願いいたします。

販売手数料を上げる話が出ているがどうなのか。

第7次中期経営刷新計画で、部門採算性を上げるため現在検討中です。今後、生産組織と協議を重ねてまいります。

事業管理費のうち施設費の令和2年度計画が100%を超えているのはなぜか。また遊休資産の処理状況を教えてほしい。

最も大きな要因としては、固定資産の新規取得による減価償却の増です。次年度計画においては、パソコン等の取得があげられます。遊休資産の処分については、補助金や都市計画区域等の絡みもあり、買い手も制限されるため、思うように進んでいないのが現状ですが、組合員の皆様の大切な財産でありますので、地域の意向を踏まえ、適正な価格で売却することを第一に考えて進めてまいります。

昨年はカメムシの被害が酷かった。今後どのように対処していくのか。

昨年は7月中旬頃まで低温が続き、あらゆる作物の生育が停滞し、その後一気に暖かくなりました。そのため、航空防除のタイミングが若干遅れたことも影響したと思われます。防除については検討会で対策を考えております。今年は雪がなく、例年より作物の生育が早まることが予想されますが、現時点では2回の防除で対応できるものと話し合っております。気象状況をしっかりと把握して対応していきます。

高品質良食味・安定生産
令和2年産米スタートに向けて

西部営農センター水田営農協議会は2月26日、山形国際ホテルで「水田作物総合検討会」を開き、約60名が参加しました。令和元年産米の作柄状況を振り返りながら、今年度に向けた取り組みの研修会を担当した営農米穀課の古内拓己係長（旧・西部営農センター営農企画指導員）のお話を抜粋してご紹介します。

令和元年度の作柄状況

5月に気温が高く日照時間も多くあり、初期の活着が良く適期に移植が行われた圃場では、良いスタートダッシュがきれました。6月に入ると一転して、低温日照不足で推移しましたが、梅雨明けから高温と日照時間が多く確保でき、稲のボリュームとしては、しっかりとした稲姿を確保することができました。8月に入り出穂期から登熟初期に高温で経過したことから、白未熟粒や胴割粒の発生が懸念されましたが、生産者皆様の水管理の徹底により、生育後半まで根の活力が維持されて、登熟も良好に進みました。村山地方の作況は105、上位等級比率94.4％という良い結果になりました。

令和2年産米に向けた技術対策

しっかり初期成育の栽培管理をする

土壌還元対策（ワキ対策）として、秋の耕耘と石灰窒素・稲わら腐熟促進剤を投入してください【写真1】。また、健苗を育成し、適期に移植することが絶対条件になります。

ケイ酸資材を施用

ケイ酸は光合成の能力を高めたり、根の活力増大、登熟の向上、耐病性の向上とプラス要素がたくさんあります。土づくりとして施用するか、中間施肥で施用し、積極的に取り組んでください。

斑点米カメムシ類対策

昨年はここ10年で一番多いくらいの発生量でした。畦畔や農道・水田内の雑草管理と防除での対策をするしかありません。航空防除は天気も絡むので難しいところですが、スケジュールを再検討して適期防除となるように進めていきます。

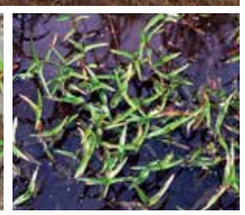
難防除雑草対策

要注意の雑草はイボクサ【写真2】です。完全に防ぐのは難しい雑草ですが、畦畔の除草を徹底し水田内への侵入を防ぐ耕種的防除と除草剤による対策を組み合わせることで、より高い防除効果が期待できます。

労力（コスト）軽減に向けた取り組み

コスト低減に向けた取り組みは農業全体の共通課題です。稲作経営も省力技術を導入して経営

【写真1】



【写真2：イボクサ】地を這うように侵入し、多発した場合は稲に絡みつくように繁茂する。

的な部分に少しでもプラスにしていくことが重要になってきています。【図1】【写真3】

提案の1つは、流し込みによる施肥（追肥）技術です。基肥一発肥料を減らして、流し込み肥料による追肥体系を組むことで資材費の削減が図れます。また、水管理の作業時に水口から流し込めば、労力的にも負担になりません。稲の生育に合わせて追肥体系をとることでコスト削減のみならず、収量・品質の安定にも繋がります。ぜひ、各営農センターの営農企画指導員にお問い合わせください。

お話をうかがった営農米穀課の古内拓己係長。

【図1】流し込み施肥（追肥）と組み合わせた安定多収をねらう施肥体系

施肥例　品種 はえぬき

◎基肥一発
はえぬきワンR　50kg/10a（現物）：N10kg/10a
肥料費合計　8,597円/10a

◎基肥
はえぬきワンR　35kg/10a（現物）：N7kg/10a
肥料費　6,018円/10a

◎流し込み
活着肥または中間施肥
みなくちNK　5kg/10a（現物）：N1kg/10a

追肥
みなくちNK　10kg/10a（現物）：N2kg/10a
肥料費　1,333円/10a

肥料費合計　7,351円/10a

【写真3】みなくち流し込み施肥

営農振興に向けた対応策

営農情報の提供

生産調査と圃場巡回で収集したデータをもとに〝タイムリー〟な情報発信につとめることが重要と考えます。また、安全安心な農作物栽培の基本としてこれからは生産工程管理表の記帳とあわせてGAPへの理解と実践が求められます。

農業振興

水田営農においては土地利用型作物、新規需要米などを組み合わせていかに誘導していくかというのを地域戦略として考えていかなければなりません。園芸団地のプロジェクトを推進し、取扱量と販売高増に向けた支援も引き続き対応していきます。こうしたことを、令和3年度からの新たな農業振興計画に反映させ、地域営農をしっかりとコーディネートしていくことが重要と考えます。

経営支援

米については生産の目安を基本にし、需要に応じた生産が求められており、担い手農家への農地集積、規模拡大の支援などを軸として引きつづきサポートしていきます。

令和2年産米の需給見通し

近年、年間8万トン需要量が減少するといわれていたのが、最近では10万トンの減少といわれています。人口の減少で歯止めがかからない状況のなか、生産の目安を基本とし、しっかりとした生産・集荷・販売に取り組まなければいけません。

10万トン＝160万俵
JAやまがたの取扱量は年間約20万俵

売れるJAやまがた米について

山形県産米についてはトップブランドの「つや姫」があります。

JAに結集し
産地ブランドと
販売力を強化

売れる JAやまがた米

が、「はえぬき」がしっかり栽培され販売されているからこそ、「つや姫」と「雪若丸」が販売戦略のなかで展開されています。今後とも新規需要米なども組み合わせて総合的な販売戦略をかけていく必要があります。〝売れるJAやまがた米〟をしっかり販売していくためには、良い米を安定的に生産していただき、産地と消費地との結びつきを更に強めていくことが大切です。大きなロットをしっかり販売し、農業経営の安定と所得の向上に向けた取り組みをさらに強めてまいります。生産者の皆様からはJAに結集して最大限の出荷をお願いしたいと思います。組合員の皆様に精一杯サポートをしてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

山形農業協同組合 新型コロナウイルス感染症防止における対応について

2月27日に岡崎輝明代表理事組合長を本部長とする「新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、適宜に情報共有を行い、下記のように対応しております。ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

●国および行政等による感染予防対策の考え方に基づき、3月1日から当面の間、当組合が主催または当組合の各部署、各種関係団体が主催する会議、総会、研修会、イベント等（酒類を伴う会合を含む）については、規模を問わず、原則、中止または延期としております。ただし、会議等の内容により重要性や緊急性があるものについては、規模縮小等を含めた開催方法も視野に入れたなかで、充分に協議検討のうえ、感染症対策の万全な体制のもとで実施可能としております。

●子どもまたは孫との同伴出勤については、3月11日から、春休み開始前日まで、本店の応接室を「やさしさフロア」として開放し対応いたしました。

●全役職員においては、「換気が悪く」「人が密集して過ごすような空間」「不特定多数の人が接触するおそれが高い場所」は避けて行動するよう周知いたしました。

●マスク等の着用については、全国的に入手が困難であるなか各部署にて創意工夫して対応し、当JAでは分け与える等の「やさしさマスク」として、相互扶助の理念で対応しております。
なお、マスクは在庫がなく、金融・共済・総務窓口、福祉センター、直売所職員については徹底させております。

●当JAすべての本支店、センター、直売所に消毒液を設置し、手洗い、咳エチケットを徹底しております。

理事会だより

今回の報告・協議された項目から抜粋して掲載しています。

第14回理事会【2月27日開催】内容より

●報告事項
・令和2年度監事監査計画
・ライフプランサポートへの取組み
・令和元年度JAやまがた営農振興策支援事業
・令和元年度園芸大規模集積団地整備支援事業にかかる果樹団地灌水設備資材入札会

●協議事項
・令和2年度内部監査計画書
・令和2年度余裕金運用
・令和元年度（果樹団地・果樹ハウス団地・野菜ハウス団地）事業の取り組み及び固定資産の取得
・令和2年度固定資産取得計画
・令和2年度コンプライアンス・プログラムの策定
・「安全衛生管理規程」の改定

グリーンやまがた野菜苗セール！

●グリーンやまがた中央
5月1日(金)～5月6日(水)
9:00～15:00

●グリーンやまがた西部
5月1日(金)～5月5日(火)
9:00～16:00

●グリーンやまがた南部
5月1日(金)～5月4日(月)
9:00～16:00

ご来店お待ちしております！

役員より vol.10

組合員・地域に根差したJA

DIRECTOR'S OPINION 2020

理事
武田藤助

第7次中期経営刷新計画のなかに組合員の農業所得向上が掲げられています。組合員の生産物をJAへ出荷していただき、JAはより高く販売する。そのために集荷体制を確立し、生産出荷資材をどこよりも安く提供する。販売・購買の利益でJAの体力をつけ、安定経営をすることが役員の役目です。

おいしさ直売所落合店がオープンして、間もなく一年になります。農業所得向上のための施設ですから、組合員の皆様のさらなる利活用をお願いいたします。

今、平等の考えが主流です。しかし協同組合においても差別が生まれております。先人たちの創ったJAは、大小問わずに、平等が理想のはずです。その想いは互いに喜び合える組合でありたいと思うのは私だけでしょうか。

総代会資料について

■各事務所への備え置きについて

農業協同組合法により、総代会資料は通常総代会の2週間前から、主たる事務所に備え置き、組合員の閲覧に供することが義務づけられています。当JAでは5月1日（金）から各事務所に総代会資料を備え置きますので、ご覧ください。

■お渡しする時期について

総代の皆様には、総代会の前にお渡しいたします。正組合員の皆様には、総代会終了後、広報紙とともにお届けします。

お問い合わせ
経営管理部 企画管理課
TEL.023-624-8265

JA自動車共済 ご契約のみなさまへ

自動車事故損害調査業務移管のお知らせ

日頃から農協事業につきましては、ご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、昨年の広報紙12月号にてお知らせの掲載をさせていただいておりましたが、令和2年4月1日より交通事故受付後の損害調査業務及び相手方との示談交渉等につきましては、JA共済連山形村山自動車損害調査サービスセンターへの業務移管になりました。新たな損害調査体制により、これまで以上の契約者サービスの強化に努めてまいりますので今後ともJA自動車共済のご利用をよろしくお願いいたします。

なお、これまでどおり、交通事故の受付やお車のトラブルが起きた場合の連絡先につきましては、JAの営業時間内はJAまで、営業時間外はJA共済事故受付センター（フリーダイヤル☎0120-258-931）までご連絡ください。

ご不明な点がございましたら、恐れ入りますが本店・支店の各窓口までお問い合わせください。

業務移管先
村山自動車損害調査サービスセンター
〒994-0024 天童市鎌田2丁目2番65号
TEL.023-665-1333
FAX.023-665-1331

情報提供窓口について

当組合の監事は、経営の健全な発展に資するため、農協法第35条の5および農協法施行規則第81条に基づき、理事の職務の適正な遂行を阻害する行為に関する情報（組合経営に関する事象に限る）の提供を求めています。

当組合の理事の組合経営に関する気になる行為について、見たり聞いたりした事柄があれば電話又は封書にて、下記宛に連絡くださいますようお願いします。

山形農業協同組合　監事会
住　　所　山形市旅篭町一丁目12番35号
電話番号　023-624-8554
（受付：月～金、9時～17時）
部 署 名　内部監査室（監事会事務局）
受付監事　常勤監事　田中 髙治　宛

※ご好意による情報提供であっても、誹謗・中傷に類似する内容のものは受付いたしかねます。
※当組合の業務に関する一般的な苦情については、各支店・センターにご相談をお願いいたします。各業務に関するご相談は、本店でもお受けしております。

家の光は5月号で創刊95周年 購読申し込み受付中です！

記念連載企画
・一度は訪れてみたい農業遺産の旅（年4回）
・明日への協同　縁ありて花ひらく

毎月魅力的な特集や連載がいっぱい
・食や健康などをテーマにした **毎月3つの特集記事**
・手軽で簡単！JA女性組織活動にもぴったり **手芸**
・やさしくわかる **農業やJAを知る連載**
・初心者からプロまで納得！ **家庭菜園や花作りの連載**
・料理や加工品など地域発の情報を掲載
ふるさとダイアリー

定価(税込)
●普通月号 **629円**
●付録月号
（1・4・5・7・9月号）**922円**
●家計簿付き12月号 **1,027円**

お問い合わせ **各支店または**
本店経済課 TEL.023-624-8567

JAやまがた NEWS TOPICS

管内の主な出来事をご紹介

JAホームページでも随時トピックスを更新中！

JAやまがた 検索

2月14日(金)
バケツ稲のわらで縄ない体験

総合学習の一環で昨年春から南部営農センターの五十嵐裕平さんの指導でバケツ稲を教材に米作りを学んだ上山市立上山小学校の５年生は、地元でしめ縄作りの継承に取り組んでいる佐藤勲さん、佐竹義文さんらから、縄ないを学びました。自分で育てた稲のわらを縄にする技術を学び、農家の人々の苦労や工夫、伝統工芸のすばらしさを知ることが目的です。バケツ稲から収穫したわらを水で湿らせ、叩いて軟らかくしたものを使いました。わらを手のひらで挟みこすり合わせるように転がしながら貴重な体験を楽しんでいました。

コツを掴むまで苦労する児童が多いなか、約4メートルの長さまで縄をなった児童も。

2月11日(火・祝)
加勢鳥34羽 上山市内を演舞

江戸時代初期から伝わる上山市の伝統民俗行事「加勢鳥」が11日、市内で行われました。上山城で開かれた祈願祭で横戸長兵衛市長が「加勢鳥にぴったりの雪景色。市民と一体になって街の元気を引き出してほしい」と激励。県内外から集まった男女がワラで編んだ「ケンダイ」と呼ばれる衣装を身にまとい、「カッカッカー」と寄声を上げながら市内に繰り出しました。飛び跳ねて踊る加勢鳥には沿道からひしゃくで祝い水を掛けられ大勢の見物客でにぎわっていました。

稼ぎ鳥が語源とされる加勢鳥は、五穀豊穣、商売繁盛を願う貴重な民族行事として古くから親しまれています。

2月7日(金)
マヨネーズを作って小笹うるいを味わおう！

山形県とキユーピー(株)は、上山市立宮川小学校で食農体験教室を開き、４年生19人がGI保護制度に登録されている「小笹うるい」の特徴などを生産者から学び、マヨネーズ作りに挑戦しました。児童はキユーピー(株)の職員の指導で、卵の黄身と酢、植物油、食塩を約５分間、かき混ぜてマヨネーズを作り、工場で作ったマヨネーズと食べ比べながら「小笹うるい」に付けて味わいました。山形県とキユーピー(株)は2019年２月に県産農作物の利用拡大などに関する包括連携協定を締結しています。

小笹うるいの贈呈式には稲毛泰一専務、生産者の鈴木憲一さん、粟野信善さんが出席し児童代表に手渡しました。

2月18日(火)
加温さくらんぼ開花

中央ハウスさくらんぼ研究会などが主催する、加温さくらんぼの観桜会が、山形市成安地区の鈴木淳さんの園地で開かれました。生産者と県外市場５社の担当者ら約30人が咲き始めたばかりの白いさくらんぼの花の下で交流し士気を高めました。研究会では、9名が129㌃で栽培。4月中旬から主に関西方面へ出荷し、5月10日の「母の日」に需要のピークを迎える。観桜会前に開かれた出荷協議会では、生産・販売方針を確認した。市場と情報を共有しながら、有利販売に努めます。

会場となった鈴木さんの園地は1月上旬に加温を始め、日中は室温を23℃程度に保ち「佐藤錦」「紅さやか」など4種類24本栽培されています。

2月24日(月)
バドミントン大会で活躍！

1月5日から3月8日にかけて、第39回山形地区実業団バドミントン大会が開かれ、46チームが熱戦を繰り広げました。1部から6部まであるリーグ戦に、JAやまがたは2部リーグにAチーム4部リーグにBチームが参加しました。

2月24日に天童市の山形県総合運動公園アリーナで行われた試合では、Aチームが東北パイオニアAチームと山形県庁Bチームに勝利し、2部リーグ暫定3位、Bチームは暫定6位で今シーズンを締めくくりました。

3月8日の試合は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。

2月20日(木)
より良い直売所へ出荷者大会

おいしさ直売所生産者協議会は、協同の杜で出荷者大会を開き、会員約300名が参加しました。農薬適正使用や食品表示の注意点、各月の売上品目、不足品目などを確認しました。直売所の魅力をより強化するため、午後からの追加搬入、ポップを活用し商品をアピールすること、対面販売の実施などを積極的にしてほしいと生産者へ呼び掛けました。原田義博会長は「売上、来店者共に前年よりプラスとなったが、落合店はまだまだ伸びしろがある。みんなで大きな店舗にしていこう」とあいさつされました。

直売所3店舗の2019年度の販売額が18年度比13％増の14億2,638万円、来店者数が9％増の80万9,300人となったことが報告されました。

2月19日(水)
福祉センターへ職場体験

山形市立南小学校6年生5名が福祉センター青田で職場体験をしました。小学生はリコーダーと歌を披露した後、体操や麦茶の配膳を手伝いながら利用者さんとの会話を弾ませていました。利用者さんの髪の毛を乾かす作業では、自分の手にドライヤーの風を当てて温度を確認しながら慎重に取り組んでいました。お別れの会では千羽鶴をセンターに贈っていただき、センターからはみんなで手作りした干し柿をプレゼントしました。小学生は「皆さん元気で楽しく交流できた。他人の髪の毛を乾かすのは初めてで難しかった」と感想を話してくださいました。

職場体験した小学生はお年寄りとの交流を通じて異年齢の人たちとの関わり方を学びました。

読者の広場

4月号のテーマ
卒業式

●3月号の表紙を眺めて、母が「このとおちゃん、なんてにこやかなんだ」としばらく広報紙を手にしていました。母を介護する身の私も嬉しくなりました。これからも素敵な“笑顔”を待っています。(山形市 Tさん)

㊝ 嬉しいお便りありがとうございます。笑顔は幸せを引き寄せる力がありますね。表紙撮影でたくさんの笑顔に出会えたことは私の宝物です。

●紅花茶の記事を読んでどんな味がするのか楽しみです。卒業式は楽しかったこと覚えています。(山辺町 Mさん)

㊝ 紅花茶は、とても香ばしく、飲んだ後は身体がポカポカしました。紅花は染料や口紅にも使用され、食として加工もでき万能なお花です。

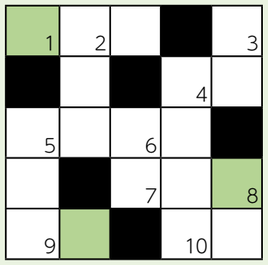
●コロナウイルスで家に居る時間が多いので、保存できるお菓子や冷凍できるケーキなど子供と一緒に手作りできるレシピをお願いします。(山形市 Wさん)

㊝ 保存できるお菓子レシピ良いですね。広報紙3月号に人参プリンと昨年4月号にイチゴプリンのレシピを掲載しています。とても美味しいので、JAやまがたのHPからご覧ください。

息抜き クロスワード

あみがけの■部分に入る文字を並べ替えて言葉を作りましょう。

□□□



➡ヨコのカギ
1 成人式をする年齢。
4 墨のような色。
5 ある場所や地位にいるときの気分や感じ。
7 「菜の花」や「花菜」とも呼ばれるアブラナ科の野菜
9 液などが部分的にしみついて汚れたところ。
10 ワラビ・ゼンマイなどの、胞子で増える○○植物。

⬇タテのカギ
2 文を組み立てている一つ一つの言葉。
3 何もないこと。1より小さい数。
4 鳥類などのかたい口先。
5 海に住む小さな魚。背中は青緑、腹は銀色、青黒いまだらがある。
6 非常に細かく砕いたもの。粉末。
8 波が荒く、または潮流が速く航海の困難な海域。

当広報紙へのご意見・ご感想に加え、テーマに関するエピソード・写真・絵葉書なども募集しています。

●応募方法／「JAやまがた広報係」まで下記のいずれかの方法でご応募ください。応募者の「氏名、住所、電話番号」も忘れずにご記入ください。

5月号のテーマ
桜

郵便 〒990-8535 山形市旅篭町一丁目12-35
Eメール kikakukanri@jayamagata.or.jp

●締切／4月25日(土)（当日消印有効）

●プレゼント／「クロスワード」正解者、またはご意見、ご感想を下さった方の中から抽選で3名の方に**「おいしさ直売所商品券」1,000円分**をプレゼント。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

3月号のクロスワード答え：はんかち

あとがき

東京オリンピックの延期が決定。オリンピックは日本の安心安全な農作物を世界中にPRする絶好のチャンスだったと思います。今年開催するのも不安でしたし、延期という判断にホッとした気持ちもあります。2021年には希望に満ちた祝福の笑顔で開催できることを願っています。

福祉センター青田 健康コラム vol 66

ビタミンB12のお話

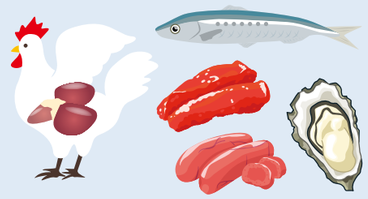
ビタミンと一言に言ってもたくさんの種類がありますよね。今日はその中でもビタミンB12についてご紹介したいと思います。

ビタミンB12は牛乳の中から発見された赤色のビタミンです。赤血球の成形をサポートしたり神経の傷を修復する働きがあります。

このビタミンB12、認知症予防でも注目されています。日本人の認知症患者の約4～6割を占めると言われているアルツハイマー型認知症。このアルツハイマー型認知症のリスクの低減に期待が持たれています。

ビタミンB12を多く含む食品

●鶏レバー ●マイワシ ●タラコ ●すじこ ●生牡蠣



ビタミンと聞くと野菜を思い浮かべる人が多いのではないでしょうか。ビタミンB12は動物性食品に含まれるビタミン。また、単体で摂取するよりも他の栄養素と一緒に摂ることでより働きます。

バランスの良い食事を美味しくいただいて健康な毎日を送りましょう。

3月の通所介護

JA移動販売

雛祭りフラワーアレンジメント

青田カフェ

お問い合わせ **福祉センター青田**
TEL.023-616-8002
介護サービス事業／通所介護・訪問介護・福祉相談窓口

JAやまがた旅行センター

旅のプランの手伝いから旅券の手配まで、旅に関するご相談お受けいたします。

旅はJA旅行センターにおまかせ!!
旅のあんなこと、こんなことをお手伝いします。

JAやまがた旅行センターは、各種旅行手配や、毎月小額の積み立てで夢ある海外旅行などを提供する企画商品を取り揃えています。また、JR券・航空券・テーマパークの入場券、その他お求めやすいパッケージ商品等も多数お取り扱いしておりますので、ぜひご用命ください。

■JAやまがた企画旅行
- 海外企画旅行、国内企画旅行、芸能ショー、クルーズ旅行、わんぱく夢冒険など。

■航空券、JR券、各種バスなどの予約・手配
- 航空券（JAL、ANAなど）、JR券の予約・発券
- 定期観光バス、貸切バス（タクシー）、高速バス、レンタカー、フェリーの予約・手配

■国内海外の団体旅行、パック旅行、プライベート旅行の企画・手配
- 少人数様からのグループ旅行、家族旅行の企画・手配
- 町内会各種旅行、部会旅行、女性部研修、年金友の会、職場研修旅行などの企画・手配
- お得なパック旅行の予約・手配

■全国各地の旅館、ホテルの予約・手配
- 個人宿泊プラン「旅だち」「ほろよい」「こだわりの宿」人気の温泉地をラインナップ。個性的で真心こめたおもてなしが自慢。
- 団体宿泊プラン「宴自慢」団体様用のお得な宴会プランです。全国多数の旅館をラインナップ。
- 特別宿泊プラン「年金受給者さま/予約者さま向け 優待企画」JAバンクと合同企画の、大変お得なプランです。
- 旅館・ホテルの日帰り宴会、御法要や同級会等もお気軽にご相談ください。

■他社ツアーの代理店販売業務
- JTB、近畿日本ツーリスト、読売旅行などの商品予約・手配も承ります。

JAバンク合同企画
年金受給者さま／予約者さま向け優待企画

この件に関するお問い合わせは
年金お受け取り、ご予約の支店・本店まで

お問い合わせ
（株）農協観光 代理業「JAやまがた旅行センター」
山形県知事登録旅行業者代理業第14号 〒990-0047 山形県山形市旅篭町1-12-35
TEL.023-624-8259 受付時間（8:45～17:00） **FAX.023-624-3261** 受付時間（24時間）